

りょうじ

グリム童話 漁師とそのおかみさんの話

あるとき、漁師はつりざおのそばにすわって、

きらきらかがやく水の中をじっと

のぞきこんでいました。

と、とつぜん、つり糸が水底^{みなぞこ}ふかくぐんぐん

しずんでいきました。

漁師がさおをあげてみますと、

大きなヒラメが かかっていた。

するとヒラメが漁師にむかって言いました。

「ねえ、漁師さん、お願いだから、

わたしを生かしておいてください。

まほう

わたしは、魔法をかけられている王子なんです。

にがしてください。」

「よしよし。そんなに色々言い立てなくてもいい。」

「うう言つて、漁師は

きらきらかがやいている水の中へ、

もう一度 魚をはなしてやりました。

(小学三・四年生課題)